

脳卒中・急性心筋梗塞の
急性期医療実態調査報告書

平成24年3月

北海道総合保健医療協議会地域保健専門委員会
循環器疾患対策小委員会

はじめに

北海道医療計画では、限られた医療資源を有効に活用し、地域の医療機関が連携することによって、急性期から在宅療養までの切れ目のない医療サービスを効率的かつ継続的に提供することとし、特に、患者数が多く、死亡原因の上位を占める等の理由から、脳卒中、急性心筋梗塞、がん、糖尿病の4つの生活習慣病（以下、4疾病と記載）については重要な課題と位置づけ、医療連携体制の構築に取り組むこととしています。

北海道は広域であり、急性期医療機関等の医療資源も偏在していることから、今後の構築に向けた方策は、地域の特性をより詳細に把握した上で、検討することが必要です。そこで、当委員会は、脳卒中と急性心筋梗塞の発症から応急手当・病院前救護、急性期医療の各段階の実態を把握することとし、各関係機関の御協力のもと、平成21年度から2年間かけて調査しました。

この度、結果がまとまりましたので御報告するとともに、今回の調査結果から得られた実態と課題が、今後、地域の関係機関の皆様で共有され、患者さんのQOL向上と地域特性に基づいた医療連携体制の構築の一助となることを期待しています。

平成24年3月

北海道総合保健医療協議会地域保健専門委員会
循環器疾患対策小委員会 会長 島本和明
北海道保健福祉部健康安全局 参事 石本みずえ

目 次

はじめに	1
1.全道の状況について		
(1) 調査目的	2
(2) 調査方法	2
(3) 回収状況	2
(4) 調査結果 脳卒中	3
(5) 調査結果 急性心筋梗塞	11
(6) 分析結果 脳卒中	18
(7) 分析結果 急性心筋梗塞	23
(8) 考察	27
2.各圏域の状況について		
(1) 道南	32
(2) 道央	44
(3) 道北	58
(4) オホーツク	70
(5) 十勝	82
(6) 釧路・根室	94

3.参考資料

(1)脳卒中と急性心筋梗塞の比較	106
(2)年齢別の発症から治療開始までの所要時間(脳卒中)	118
おわりに	120

関係資料

(1) 北海道脳卒中・急性心筋梗塞の急性期医療実態調査要綱	121
(2) 脳卒中の急性期医療実態調査票	122
(3) 急性心筋梗塞の急性期医療実態調査票	125
(4) 脳卒中調査協力医療機関一覧	128
(5) 急性心筋梗塞調査協力医療機関一覧	130
(6) 委員名簿等	132